

「交通社会資本としての鉄道整備」

日時：5月18日(火) 16:50-18:35 (5限)

国際学術総合研究棟4階SMBCホール(20名まで)に
おける対面授業とオンラインでの受講の併用

公共政策大学院では、「国際交通政策」の授業において、
下記のとおり、政策研究大学院大学 客員教授 森地 茂氏
からお話を伺います。

鉄道は、都市間・都市内交通において基幹的な役割を担
うとともに、地域・都市の発展にも重要な影響を及ぼす交通
社会資本であります。その整備には多くの資金・時間を要し、
様々な政策展開がなされます。講義は人口動向やコロナ禍
に対する東京圏の都市鉄道の課題と、アジアの大都市鉄道
の現状と課題及び整備の仕組について解説した後、都市間
も含めた鉄道整備について学生の意見や質問をもとに討議
を行います。

履修登録者以外の本学学生の参加を歓迎します。(使用言語：日本語、本学学生以外の
一般の方は参加・アクセス出来ません。)

※ 対面授業を希望する学生は、下記アドレスまで、授業前日17時までに連絡すること。先着順に
受け付けし、教室の定員を超えた場合にのみ個別に連絡する。

※ オンライン授業URLはITC-LMS又はUTASで確認すること。また、資料はITC-LMSにおいて本
科目を仮登録の上、ITC-LMSから入手すること。授業開始の1時間前までを目途に掲示する。

—問い合わせ：交通・観光政策研究ユニット ttpu@pp.u-tokyo.ac.jp—



政策研究大学院大学
客員教授

森地 茂 氏